

# 令和元年度 事業報告書

(平成31年4月1日～令和2年3月31日)

## I 法人の概況

1. 設立年月日 平成21年6月1日

2. 定款に定める目的

本社団法人は、文化財保護に携わる民間調査組織として必要な技術の研鑽、向上を図り、もってわが国文化芸術の振興に寄与することを目的とする。

3. 定款に定める事業内容

- 1) 文化財保護に関する知識の教授
- 2) 文化財保護に関する技術力向上のための研修会・講習会の開催
- 3) 発掘調査技術者の資格検定試験の実施および資格の認定
- 4) 文化財保護に関するセミナーの企画・運営又は開催
- 5) 文化財保護にかかる図書および記録の閲覧、書籍の制作、電子出版物の提供
- 6) 文化財保護に関する国内外の団体等との連絡協調
- 7) 講習テキスト、試験問題集、会員名簿ほか図書の出版販売
- 8) その他この法人の目的を達成するために必要な事業

4. 所管官庁に関する事項

内閣府

5. 令和2年3月31日現在の会員数

種類	当期末	前期末比増減
普通会員	83社	±0社
賛助会員	6社	±0社
合計	89社	±0社

6. 主たる事務所の状況

主たる事務所：東京都中央区日本橋富沢町10-13-301

7. 令和2年3月31日現在の役員

役職	氏名	現職
理事長	長谷川渉	(株)武蔵文化財研究所 代表取締役
副理事長	安住修二	(株)パスコ 常任顧問
	橋本眞紀夫	パリノ・サーヴェイ(株) 取締役調査研究部長
専務理事	西城修	国際航業(株)
常務理事	川谷昭彦	特定非営利活動法人 人類学研究機構 顧問
	黒木隆史	日本海航測(株) 代表取締役社長
	武賢治	国際文化財(株) 顧問
	河合英夫	(株)玉川文化財研究所 専務取締役
	平井貢	(株)シン技術コンサル 常務取締役
	山口寛	ナカシャクリエイテブ(株) 代表取締役社長

理事	河野一也	関東文化財振興会(株) 埋蔵文化財調査部長
	森 允	(株)イビソク 代表取締役社長
	安部清美	扇精光コンサルタンツ(株) 代表取締役社長
	板野伸彦	大成エンジニアリング(株) 執行役員
	岩立二郎	(株)島田組 代表取締役社長
	加藤成樹	加藤建設(株) 代表取締役
	日沖剛史	(有)毛野考古学研究所 代表取締役
監事	山内伸治	(株)四門 取締役専務執行役員

## 8.令和2年3月31日現在の職員

職員数 2名（常勤2名、うち1名は出向者）

## II 事業の概要

### 1.事業の実施状況

令和元年度の事業計画書に基づき以下の事業を実施いたしました。

#### 1) 総務委員会（橋本真紀夫 総務委員長）

今期の埋蔵文化財調査士の資格認定試験を9月14日に実施し、行政経験者7名、埋蔵文化財調査士補からの受験者9名が合格しました。埋蔵文化財調査士補の指定講習会を7月26～28日の3日間で全10講座を受講した後、8月31日に資格認定試験を実施し、受験者16名合格しました。

CPD委員会は、5月と11月に埋蔵文化財調査士・士補から申請されたCPDのポイント集計と認定作業を行いました。5月集計では78名（調査士56名、調査士補22名）から430件の申請がありました。11月集計では108名（調査士82名、調査士補26名）から327件の申請があり、CPDポイントの付与を行った。

また、資格取得後5年ごとの資格更新手続を行うため、資格更新条件となるCPDポイントの取得がスムーズに行われるようCPD管理システムの整備に取り組み、今期より稼働しております。

編集委員会は、考古学専門誌の埋蔵文化財に関する特集号に掲載する観光考古学の課題をテーマに企画し、行政の方を含め座談会を開催して編集を行った。

#### 2) 技術研修委員会（河合英夫 技術研修委員長）

今期の技術研修会では、武蔵野台地の旧石器時代研究および近世江戸遺跡研究の調査視点および方法論と題して、7月14日に日本橋社会教育会館（東京）で70名参加、ならびに遺跡調査における植物珪酸体分析の活用と課題および3D考古学と埋蔵文化財と題して、11月30日に福岡商工会議所（福岡）で27名参加による研修会を開催しました。

近年文化財の分野で広く活用されるようになってきた3D計測技術について、今後も他団体との協働を行いながら、資格者の調査力向上に努めてまいります。

また、会員会社の考古学の基礎的な技術や方法論に基づいた、調査から報告書の内容を含めて調査力の向上や質の確保を図るため、会員会社が作成した調査報告書を審査して優秀なものを顕彰する表彰制度を設けています。第7回優秀調査報告書審査会を開催し、2社を最優秀調査報告書、7社を優秀調査報告書に選定しました。5月10日の表彰式で受賞者に賞状を授与いたしました。

3) 考古検定検討委員会（長谷川渉 考古検定検討委員長）

今期は新たな委員を加え問題の作成を行い、第11回考古検定を11月16～24日の検定期間で、入門・初級・中級・上級・最上級の5クラスで実施、受験者増には至りませんでした。今後も継続して受験、勉強を行えるよう今後も受験者からのアンケートや要望を精査し受験者の満足度の高い検定試験となるよう取り組んでおります。

また、今期は考古検定過去問題集第3版の発行に向けた委員会を開催し、10月に考古検定過去問題集3として発行しました。

4) 事業委員会（安住修二 事業委員長）

今期は8月に文化庁・今里次長と面談、3月に萩生田文部科学大臣と面談を行い要望書の提出ならびに東京都教育庁へ要望書の提出を行った。

引き続き会員獲得のため民間調査組織への協会加入の案内を積極的に行い、今期1社の加入がありました。

今期は九州・中部地区連絡協議会に続き、10月に東京地区連絡協議会を立上げ、地区会員との意見交換を行った。

5) 広報委員会（山口 寛 広報委員長）

今期は7月に令和元年度埋蔵文化財調査要覧の企画・編集を行い、8月に協会活動報告を掲載している会報誌「飛天」と会員会社の資格者による遺跡報告・研究ノート等を掲載している「紀要」第3号を合本して発行しました。

6) 復興支援対策本部（武 賢治 復興支援対策本部長）

前期に引き続き震災の被災地の自立を目指す一助となるよう、官民連携し発掘調査の支援を通じて東日本大震災の復興に、さらに、何時でも何処でも起こりえる激甚災害ならびに国家プロジェクト等への支援活動に協力をしてまいります。

2. 当期の重要な契約

なし

3. 令和元年度会議等一覧

4月	5日	優秀調査報告書審査会（第三者委員会）
	12日	理事会
5月	10日	定時社員総会・理事会
	26日	CPD委員会
	29日	考古検定検討委員会
7月	4日	試験管理委員会（第三者委員会）
	14日	技術研修会（東京都中央区）
	19日	常務理事会、九州・沖縄地区懇談会（熊本市）
	26～28日	埋蔵文化財調査士補・指定講習会
	27日	編集委員会（座談会）
8月	5～6日	考古検定検討委員会
	30日	事業委員会

	31 日	埋蔵文化財調査士補 資格試験
9 月	10 日	考古検定検討委員会
	13 日	常務理事会
	14 日	埋蔵文化財調査士 資格試験
試験管理委員会（可否判定会議／第三者委員会）		
10 月	18 日	東京地区連絡協議会
	27 日	考古検定検討委員会
11 月	17 日	CPD委員会
	29 日	常務理事会、中部・北陸地区懇談会
	30 日	技術研修会（福岡市）
12 月	6 日	理事会
	13 日	東京地区連絡協議会
	18 日	考古検定委員会（第三者委員会）
2 月	7 日	常務理事会
3 月	4 日	文部科学大臣へ要望書提出
	18 日	東京都教育庁へ要望書提出
	25 日	理事会（書面）

以上